

区立 有明西学園 4月開校

区内初 小中一貫教育を行う義務教育学校



区では、有明地区の人口増加に伴う児童・生徒の急増に対応するため、4月、有明一丁目に有明西学園を開校します。有明地区では有明小・中学校以来7年ぶりの新設校です。
有明西学園は、区内初となる小中一貫教育を行う義務教育学校です。家庭、地域、社会と連携を図りながら、未来を見据えた教育を進めていきます。

▲1年生から9年生までが、一つの学校で生活し、ともに活動することを通して、思いやりの心を育みます

児童・生徒数急増に対応

有明・豊洲地区の0歳～14歳の人口は、平成20年からの10年間でおよそ2倍に増加し、今後マンション等の新築に伴い、増加する見込みです。
区は、児童・生徒が健康で快適な学校生活を過ごすことができるよう、受入態勢の整備を進めています。

木のぬくもりを活かした「江東区らしい学校施設」

有明西学園の校舎は、①木のぬくもりを活かした学び舎づくり、②豊かな学習環境を創出する空間づくり、③災害に強く、人・環境にやさしい学校づくりをコンセプトとしています。
校舎の中央には、2階から5階までの吹き抜けの階段があり、木構造の柱や、木質化された壁に包まれた場所となっています。木の手触りや温かさを感じることができます。



▲吹き抜けの階段

区内初の義務教育学校として育む力

義務教育学校とは、小学校・中学校とは異なる新たな学校の種類です。1年生から9年生までの児童・生徒が一つの学校で学ぶ小中一貫教育を実施します

(前期課程を1～6年生、後期課程を7～9年生とします)。9年間を通した一貫性、継続性のある指導により、児童・生徒の「生きる力」を確かに育みます。



▲木をふんだんに使った教室

有明西学園の運営方針

有明西学園で学ぶ児童・生徒、教職員、保護者、地域の方々、教育にかかわるすべての方々が、強い絆で結ばれた一つの家族「Ari-nishi Family」として、学校づくりを進めていきます。

前期課程から教科担任制を実施

後期課程への円滑な接続と、質の高い授業を目指して、前期課程の5年生から一部の教科で教科担任制を導入します。

ICT教育の充実

タブレット端末を配備し、電子黒板を全普通教室と特別支援教室に常設します。ICT機器を効果的に活用し、児童・生徒の確かな学力を育みます。

英語教育の充実

前期課程から9年間を通して英語教育の充実を図ります。区国際交流員等を活用し、児童・生徒が英語を使う機会を増やし、英語力の向上を図ります。

学園内に江東きつぷクラブを開設

放課後の学校施設等を活用し、前期課程の児童を対象に、安全で安心な居場所を提供します。自主的な遊びの場等を提供するA登録と、就労世帯等の児童を保護者に代わって育成するB登録があります。

「教育内容に関する問合せ」指導室指導主事

☎(3647)9179
FAX(3647)6505

「就学・標準服に関する問合せ」学務課学事係

☎(3647)9174
FAX(3647)9053

「江東きつぷクラブに関する問合せ」

☎(3647)9308
FAX(3647)9274

放課後支援課支援係

☎(3647)9173
FAX(3647)8547

「建物に関する問合せ」学校施設課施設管理係

☎(3647)8542
FAX(5690)6911

「右記以外の問合せ」庶務課教育政策調整係

☎(3647)8542
FAX(5690)6911

